



## 〇たより

今年、私のもとに韓国から届いた年賀状です。5 年前の「KOCHO だより」でも記述しましたが、あらためてご紹介します。

7 年くらい前に勤めていた学校にふらりと数名の来客がありました。「どんな用事だろう？ひょっとして不審者？」と生徒を預かっている立場としてはいろいろなことを想定して迎えました。会話をしているとうまくコミュニケーションができません。韓国語と日本語が混じっていたからです。

この方々をごく簡単に紹介します。昔日本（校区内）に住んでいたが事情により兄が残り家族は帰国した。あれから年を重ねてしまったが、かつて住んでいた家や兄に最後に出会いたくてやってきた。皆さん日本語を忘れてしまっていたが、お一人はこの旅行のために学び直されたそうです。あてもなく探して途方に暮れていた時、学校を見つけたので訪問したということでした。

後から聞いたことです。お兄さんとは出会えなかったけれど住んでいた家の場所とその痕跡は見つけることができたこと。また、昔の古い同窓会紙に親戚のお名前があったことなどです。私は地域のことに詳しい方を紹介するくらいしかお世話をしていませんが、毎年下記のような美しい年賀状を受け取っています。恩を感じてお礼の気持ちを届けたいという温かい心を、私は毎年いただいています。



カラフルな戌たちです。  
現物は半立体になっています。

## 自校自賛

本校の玄関ロビーに 2 年生が手作りをした絵本が展示されています。短い時間で制作したわりにはバラエティに富んだ内容で、楽しく読むことができます。実際に子どもたちとふれあってきた学生たちは物語の構成も上手だなと思いました。二年間の学びの成果が見て取れます。読んだこちらの気持ちがホッとするものもあります。作画がていねいなものもあります。発想がおもしろいものもあります。ご来校の際にはぜひご一読ください。

